

2024-25年度 黒田会長テーマ -時を楽しむ ロータリーを楽しむ-

第3165回例会 令和6年12月24日(火) 天気:晴 No. 18

2024-2025 年度

RI テーマ



会長 / 黒田 正志 幹事 / 小笠原正秀

クラブ会報委員 外山晃久 / 永江義澄 / 羽佐田芳和

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <https://www.nishio-rotary.org>

【本日のプログラム】

司 会 萩原竜治例会運営委員長 齊 唱 「我等の生業」
 スピーカー 地区米山奨学委員会 副委員長 内藤教恵君 (安城RC)
 「米山記念奨学事業について」
 食 事 ささ家



【会長挨拶】



先日のクリスマス家族例会にはたくさんの方にご参加いただき、ご家族ともどもありがとうございました。おかげさまでとても賑やかなクリスマス例会となりました。親睦委員の皆様にも大変お世話になり、ありがとうございました。

今年度は7月のみどり川のクリーン作戦から始まり、西野町小学校児童による御殿万歳披露、それからイングリッシュキャンプ、また、地区補助金事業として、愛知こどもの国50周年記念事業に参画させていただき、子どもたちにSLバッジのプレゼントなど、計画していた事業をほぼ遂行することができました。

来年は新年夜間例会が1月9日にあります。2月はIM、3月は一色ロータリークラブさんと合同で佐久島の海岸清掃、4月は万博例会などたくさんの事業が予定されています。さらに、10分間スピーチでは1人でも多くの方にお話をさせていただきたいと思っています。新年の最初の10分間スピーチは足立俊さんをお願いしています。多分、新年度の経済と株価の展望のお話が聞けるのではと思います。私も大変楽しみにしていて、来年はいかに儲けようかと考えています。

このところ空気が大変乾燥していて、多くの火災が発生しているようです。朝のニュースでもそれが1番に飛び込んできます。もう1点、インフルエンザがこのところ猛威を振るっているようで、感染者が先週の倍という大変な数字になっているようです。お正月休みを控えていて気が緩むかと思いますが、注意をしてゆっくりお休みいただきたいと思います。

【委員会報告】

〈出席委員会〉岩瀬 正広委員長

本日の出席数 54名 欠席数 15名 出席率 78.26%

〈スマイルボックス委員会〉山尾ひろみ委員長

地区米山奨学委員会 内藤教恵君 (安城RC) 本日は卓話をさせて頂く機会を頂戴しました事、感謝申し上げます。

黒田正志君 地区米山委員 内藤様、本日は西尾RCにようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願ひします。

小笠原正秀君 地区米山委員 内藤様、ようこそ西尾RCへ。卓話拝聴させて頂きます。先日のクリスマス会、インフルエンザにかかってしまい、やむなく欠席しました。ご迷惑をお掛けしました。行きたかった～

田中正規君 楽しいクリスマス例会でした。親睦の皆さんお世話になりました。



稲垣良次君 来年1月1日よりイナテックの会長に就任します。今後共皆様のご指導を宜しくお願ひします。

三浦康彦君 商工会議所の審査会の役員を10年間務める事が出来ました。有難うございました。

柴田高広君 楽しいクリスマス例会を有難うございました。孫たちも大喜びでしたが、皆様お騒がせしました。

石川哲朗君 クリスマスに間に合いました。クリスマス例会の写真ご協力ありがとうございました。

杉浦義浩君 クリスマス家族例会とても楽しかったです。子供のころ参加したクリスマス例会を思い出しました。杉田委員長始め、親睦活動委員会の皆さん有難うございました。家族写真ご配慮、有難うございました。息子が社業として取り組んでいる「学習サポートYAMAYO」の記事が地方紙に掲載されました。

神谷 明君 この度、代表取締役を退き会長職に。気楽になりました。有難うございました。これからもよろしく。

浅岡直幸君 哲朗さんいつも素敵な写真を有難うございます。メリークリスマス。

岡田雅彦君 地区米山奨学委員会 副委員長 内藤教恵様には、大変ご多用な中お越し頂き有難うございます。税理士会会務の為、久しぶりの出席です。

加藤 浩君 先日の亡き父の葬儀の際には心のこもったお悔やみと、過分なお香典を頂き深く感謝いたします。今後も宜しくお願い致します。

〔卓話〕

地区米山奨学委員会 副委員長 内藤教恵君（安城RC） 「米山記念奨学事業について」



本日は、米山記念奨学金事業、米山奨学生寄付金の状況、学友会の活動紹介についてお話をさせていただきます。まず初めに自己紹介をします。クラブ役歴は、地区社会奉仕委員会副委員長、地区研修実行委員会DL、米山記念奨学委員会副委員長です。この事業はロータリー独自で日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。特徴として、世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視しています。1952年、東京ロータリークラブが米山基金の構想を発表しました。これからはアジアから優秀な学生を招いて学費を援助するとともに、戦争を2度と起こさないというものでした。

2024年の米山奨学生の採用は926人。外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。累計で133の国と地域、2万4133人を支援しています。米山奨学生の国籍で最も多いのは中国です。2760地区では12月21日に第3次選考会、面接試験を行いました。採用の基準としましては、将来の目標、留学の目的、交流への熱意、人間性、コミュニケーション能力、そして地区裁量として国籍が偏らないようにと、このような採用基準を設けて選考しています。奨学生がどのように決まっているかという、6月に地域割当数が決まり、7月にガバナー事務所で、大学の事務局さんをお招きして指定校説明会を開いています。8月から10月に指定校内で選考・申し込みが始まり、11月から12月に書類選考、選考会、面接を行います。12月から2月に合否発表をします。合格した奨学生には、地区行事に参加する出席義務というものがありません。4月には、オリエンテーションがあります。年度は4月から始まります。5月にRFFで学友とともにボランティア活動に参加します。11月に地区大会、12月には忘年会。3月には修了者感想会、一般的に言う卒業式があります。

寄付金の状況について、財源は会員の皆様の寄付で成り立っています。今年度は前年度から2300万円増で14億4568万円です。2760地区が個人平均寄付額3万6935円で一位になりました。全国平均額が1万7293円です。西尾ロータリークラブの平均寄付額は1万1363円でした。累計額は、3883万315円で、残り117万円寄付されると、4000万円達成クラブになります。寄付金には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金はロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的にいただく寄付です。特別寄付金は個人、法人、クラブから普通寄付金以外に任意でいただく寄付金です。世界の平和と発展に貢献する米山記念奨学事業にご協力をお願いいたします。

巣立った米山奨学生は期間終了後、米山学友になります。同窓会組織米山学友会は日本国内に33、海外に10あり、他の学友と交流するなど、ロータリーの世界に根を張りネットワークを広げています。各学友会では、それぞれの親睦を深めたり、自主的に社会奉仕活動を行っています。ロータリークラブは単なる奉仕団体、親睦を深めるための団体ではないことを奨学事業が明らかにしているのではと思います。今後とも米山記念奨学事業の応援をお願いいたします。

